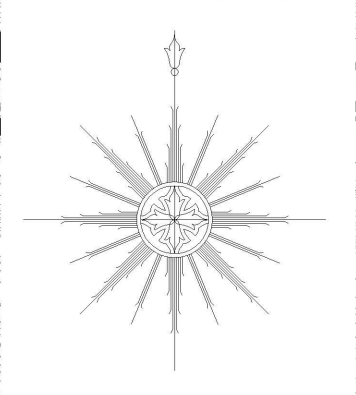


信濃川水系信濃川十日町区間 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ 暫定版
(浸水深3m(1階居室浸水相当)以上) 【中期河道】2/2



位置図



索引図



小千谷市

十日町市

凡 例

想定される浸水範囲

- 高頻度(1/10)
- 中高頻度(1/30)
- 中頻度(1/50)
- 中低頻度(1/100)
- 想定最大規模

市町村界

河川等範囲

浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川

- 1 説明文
- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水深3m(1階居室浸水相当)以上)を示した図面です。
- (2) この水害リスクマップは、中期(令和14年度)の信濃川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%))、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3.3%))、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%))、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%))の降雨に伴う洪水により信濃川十日町区間が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
- (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和34年8月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
- (4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年5月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

- 2 基本事項等
- (1) 公表年月 令和4年12月
- (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省北陸地方整備局
・信濃川河川事務所：信濃川水系信濃川
- (3) 実施区間 信濃川河川事務所
・信濃川十日町区間
左岸：新潟県十日町市宮中己地先から新潟県長岡市西川口地先まで
右岸：新潟県十日町市小原辛地先から新潟県長岡市東川口地先まで
- (4) 算出の前提となる降雨
・年超過確率1/10(信濃川十日町地点上流域の2日間の総雨量129mm)
・年超過確率1/30(信濃川十日町地点上流域の2日間の総雨量152mm)
・年超過確率1/50(信濃川十日町地点上流域の2日間の総雨量164mm)
・年超過確率1/100(信濃川十日町地点上流域の2日間の総雨量180mm)
- (5) 河道条件：中期(令和14年度)
- (6) 関係市区町村 長岡市、小千谷市、十日町市

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R4JHs 424

1:25000

1 0 1 2 3 4km

国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所